



提案理由の説明をする大蔵市長(後列左 伊藤議長、右 杉山局長)

平成19年度当初予算 第5次行政改革の状況踏まえ編成 真に必要なサービスの維持・向上めざす

今定例会の代表・総括質問では、平成十九年度の当初予算や大蔵市長の四年間の行政成果などについて議論が集中しました。このほか、まちづくりの分野では、見附台周辺地区の整備や平塚駅西口地区の再開発事業について、経済の分野では、日産車体(株)の工場の一部閉鎖や本市産業の活性化について、福祉の分野では、障害者への福祉施設について、教育の分野では、教育基本法の改正や放課後児童の健全育成、さらに歴史的建造物の保存事業についてなどが審議の焦点となりました。

これらの内容を、各常任委員会での質疑も併せて二六面と八面に紹介いたします(質問を行った議員名と主な項目は七面に掲載します)。

議員 十九年度の当初予算はどのような方針で編成したのか伺いたい。

市長 十九年度は統一地方選挙が執行されるため「骨格予算」とし、事業実施が明確に決定されていない「新規事業」は当初予算に計上せず、選挙後の判断に委ねることとした。

議員 今後、政策的判断を要する施策、取り組むべき事業の優先順位をどのように考えているのか。

市長 「市民の視点」現「現主義」を踏まえ、後年

度負担を考慮し、事業の必要性、緊急性および効率性の観点から選択し、優先順位を付ける必要がある。現在審議中の平塚市総合計画基本構想が議決された後、財政見直しを踏まえた上で個々の事業が実施されていくものと考えている。

議員 「簡素で効率的な行政運営を目指して行政改革を推進する」という考え方は、予算編成にどのように表れているのか。

市長 事務事業の見直しを図る際には、事業開始時の経緯や社会経済情勢

財政健全化への取り組み 自主財源の確保など尋ねる

議員 本市の財政健全化プランでは、一〇年間で二二〇億円の財源不足が示されているが、具体的な財源対策を聞きたい。

総務部長 財政健全化プランでは、財政推計により二〇〇億円を超える収支の不均衡が生ずることから、その不足額を解消するため、一〇年間で約一六六億円の財政健全化対策を行うこととしている。それでもなお収支の

年度においても、西部丘陵地域の里山保全推進事業や金目地区のエコ・ミュージアム推進事業などは、住民や各種団体等とともに実施していく。

議員 十七年度決算の審査結果や監査委員の決算審査意見書、十八年度予算の執行実績は、十九年度予算に反映されているのか。

市長 決算特別委員会での意見や、監査委員が指摘した「財源の有効活用」さらには十八年度の実績等を予算編成に生かした。例えば、消防ポンプ自動車の計画的な更新や放課後児童クラブの拡充などに反映できたと考える。

議員 各種事業を継続するに当たってどのように検討し、見直しを行ったのか聞きたい。

市長 事業のスクラップ・アンド・ビルドを促進するとともに、各部署の自主・自立性の確保とコスト意識の向上を図るために十八年度予算編成時から導入した予算事業検証シートにより、十七年度の各部予算事業の取り組みと成果について検証し、十九年度予算編成に活用した。

補助金の見直し基準に従い、終期の設定や補助率の見直しを図るとしているが、どのように取り組んだのか。

市長 各部署における配分予算の中で、公益性・公平性・必要性等を勘案して見直しを行った。また、各種団体の理解を得ながら、補助対象の縮小

議員 補助金の見直し基準に従い、終期の設定や補助率の見直しを図るとしているが、どのように取り組んだのか。

市長 各部署における配分予算の中で、公益性・公平性・必要性等を勘案して見直しを行った。また、各種団体の理解を得ながら、補助対象の縮小

など支出基準の見直しと廃止を行った。

住民福祉の充実へ 今後の施策どう展開

議員 「住民の福祉とくらしをまもる」という自治体本来の役割を維持、充実させる上で、今後どのような施策を展開しようと考えているのか。

市長 国による税制改正や社会保障制度の改正によって、市民の生活実態が厳しい状況に置かれていることは十分認識している。十九年度当初予算においては、例えば福祉分野では介護予防施策の充実や、また、障害者自立支援法に関連しては、市が実施主体である

ツクスタート事業を実施した。また、この延長として学校図書館に司書を置き、「子ども読書活動推進計画」を進めている。さらに児童保育の公設化を目指し、安心して安全に放課後を過ごせる場の提供を考えてきた。

議員 未熟児を持つ家庭を保健師等が訪問する事業の内容を聞きたい。

健康福祉部長 未熟児訪問指導事業は、十八年度の表明後、市民意見を聞くべきとの指摘を受け、平成十八年八月に「平塚市役所庁舎に関する市民アンケート調査」を実施した。これにより庁舎建設の方向性などについて市民意見を把握し、同年十一月にその結果をまとめた報告書を公表した。さらに、学識経験者、市内の各種団体の代表・公募市民による新庁舎建設計画懇話会を設置し、平成十八年八月から四回の会議を開催した。現在、懇話会での意見をまとめ、報告し、完成し次第、報告したいと考えている。

議員 今後、建設までどのようなスケジュールを

大蔵市政の四年間 事業実績と公約の達成度問う

議員 市長の四年間の行政成果の中で、市民と協働してまちづくりに取り組んだ具体例を聞きたい。

市長 平塚市自治基本条例や見附台周辺地区の土地利用などについて、検討の初期段階から積極的な市民参加を推進して策定したことが挙げられる。

議員 ハード事業で実施した施策は何か。

市長 新保健センターや桜ヶ丘公園、農業集落排水などの事業を推進した。さらに、西部福祉会館、中原公民館などに加え、次期焼却施設の整備や平塚山下線の開通などの見直しも付けた。

議員 「市民にわかりやすく、身近に感じられる行政運営」とはどのようなものか。

市長 「いどばた会議」や「学びトーク」などを開催し、また市長の行動記録や交際費、予算編成過程などの公表で情報を提供してきたことである。

議員 市長の公約の達成状況を聞きたい。

市長 選挙公報での公約や自身のホームページで表明した政策・約束および市長就任後の所信表明を八分類八二項目に整理した。四年間で実施した件数は七一項目で、実施率は八七%である。

**将来を担う子供達へ
育環境の整備推進**

議員 市長はどのような理念のもとに、具体的な

地域生活支援事業の負担軽減策を今後も展開していく予定である。市民の生活実態やニーズを踏まえ、サービスの受け手である市民の視点から、何が有益で、真に必要な事業は何かを十分に検討した上で、財政状況を考慮しながらさまざまな施策を実施していきたい。

に県内では本市だけが神奈川県から権限を移譲された事業である。未熟児を出産した母親の家庭を保健師や助産師が訪問指導し、その後、乳幼児健康診査や子育て支援サービスを実施する。これにより健康管理や育児支援等、妊娠時期からの情報を一元化することで的確な指導や支援が可能となり、安心して子育てができる環境を提供している。

を予定しているのか。

総務部長 基本構想を策定するための委員会を十九年度に設置し、新庁舎建設の基本構想・基本計画を策定したいと考えている。策定終了後に基本設計、続いて実施設計を行い、その後建設工事に入る予定である。

議員 市庁舎建設に関する情報はどのように市民に提供していくのか。

総務部長 庁舎建設に関する情報については、これまで随時、記者発表や市のホームページ、広報ひらつかなどを通じて提供してきた。今後も市民への情報提供に努めていきたいと考える。

**「早期・現地在・新築」
表明から1年経過**

庁舎建設の作業状況聞く